

◆ 今週のコメント

- ・ 日本紅斑熱の報告が1例(女性, 40歳代)あり, 京都市では「感染症法」が施行された平成11年4月以降, 平成23年に次ぐ2例目の報告となっています。症状は発熱, 頭痛, 刺し口, 発疹, 肝機能異常です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路はマダニからの感染です。
ワクチンは無いため, 本症の予防にはマダニの刺咬を防ぐことが極めて重要です。好発時期の4～11月に野山などへ, やむを得ず立ち入る際には(1) 皮膚の露出を少なくしマダニの付着を防ぐ。(2) 忌避剤を使用する。(3) 作業後, 入浴してマダニが付着していないか確認します。除去する場合には, 感染を防ぐためマダニを指で潰さないように注意し, 頭部をピンセットで摘んで捻るようにしますが, できるだけ医療機関を受診するようにして下さい。
- ・ ウイルス性肝炎(B型)の報告が1例(女性, 20歳代)あります。本年初めての報告となっています。症状は, 全身倦怠感・嘔吐・褐色尿・肝機能異常・黄疸です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は性的接触(異性間)です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(女性, 80歳代)あります。平成25年4月1日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降, 平成25年の累積報告数は15例, 平成26年 40例でした。本年の累積報告数は7例です。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており, 年間を通じて注意が必要な疾患のため, ワクチンによる予防が重要となります。

◆ 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.76と, 前週に続いて増加し本年度で最も多い報告数となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 四類: 日本紅斑熱 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類: ウイルス性肝炎(B型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類: 梅毒(無症候(無症状病原体保有者)) 1例【1月以降の累積報告数 3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

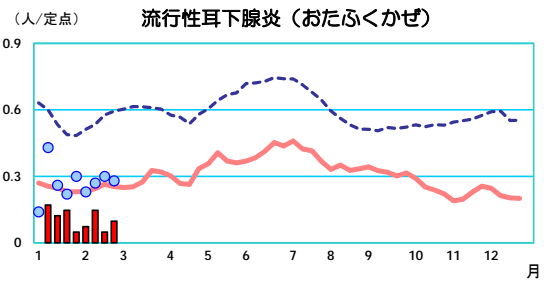
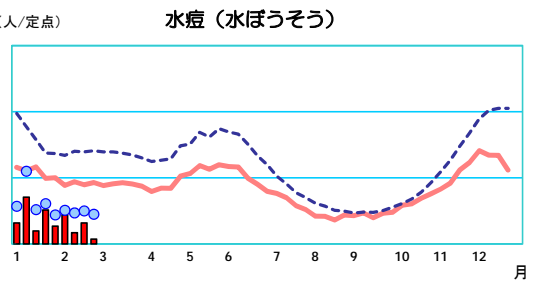
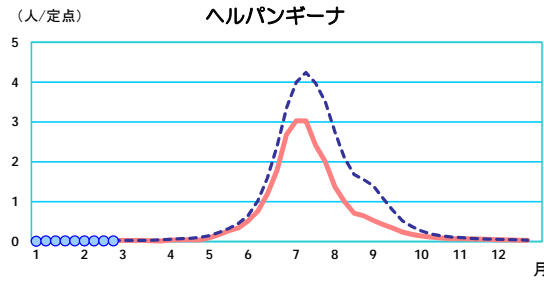
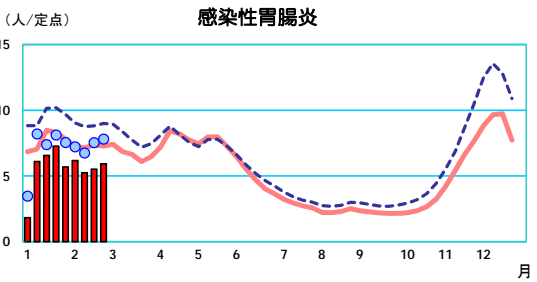
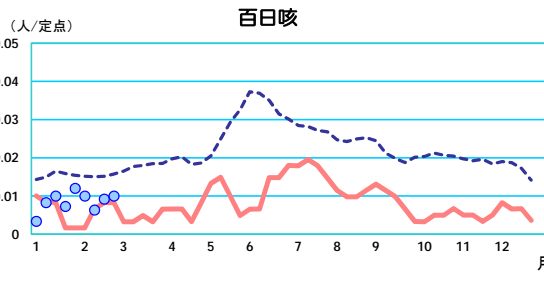
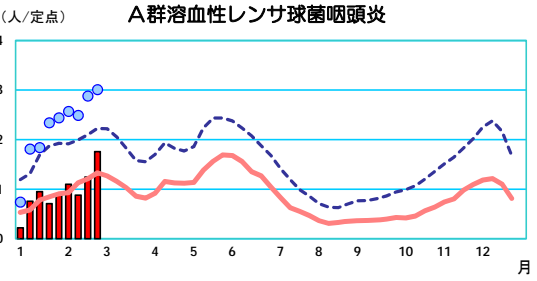
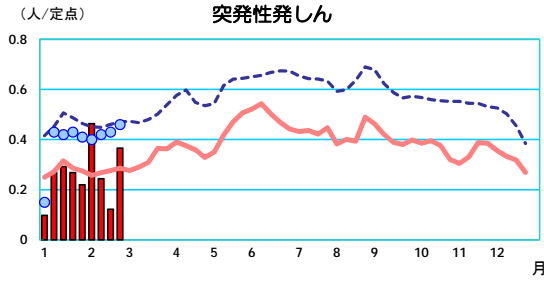
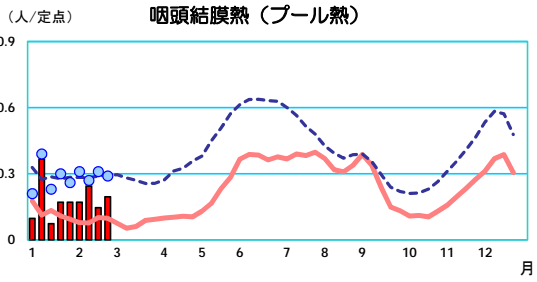
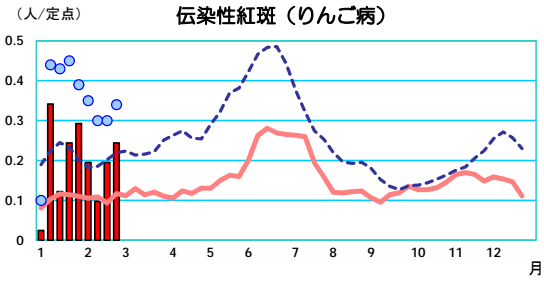
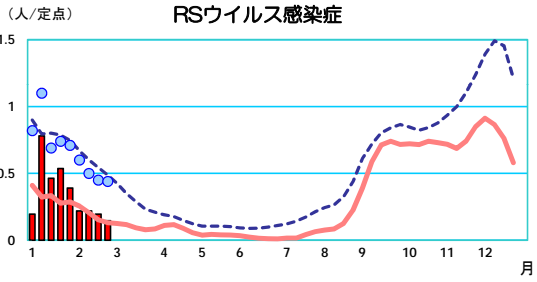
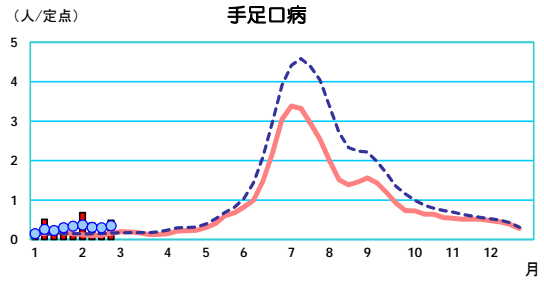
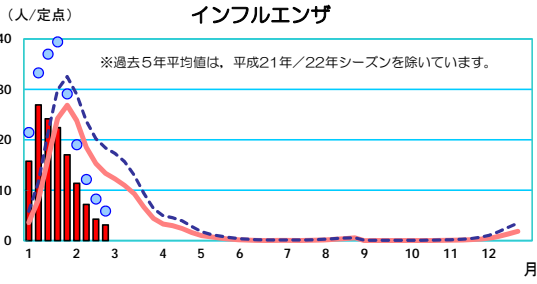
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	3.12	212
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.93	243
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.76	72
	③ 手足口病	0.49	20
	④ 突発性発しん	0.37	15
	⑤ 伝染性紅斑	0.24	10
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

(注) 京都市のデータは, 平成27年3月5日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第9週(2月23日～3月1日)トピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

京都市及び全国の発生動向

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.76と、前週に続いて増加し本年で最も多い報告数となりました。また、今週の報告数は京都市の過去5年平均値を上回っています。さらに全国の定点当たり報告数(3.01)も2週連続で増加しており、過去5年平均値を上回っています。都道府県別では、多い順に鳥取県、石川県、山形県となっています。今年に入り、本市及び全国共に報告数が増加傾向にあることから、今後の発生動向に注意が必要です。

症状及び感染経路

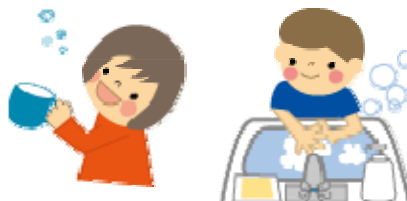
潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。通常、1週間以内に主症状が消失する予後良好の疾患ですが、皮膚の発疹や舌の発赤が現れる「猩(しょう)紅熱」という状態になることがあります。

感染経路は、主にヒトからヒトへの飛沫感染や接触感染です。通常、患者との接触を介して伝播し、家庭での兄弟間や、学校、幼稚園、保育園など小児の集団生活施設での感染も多くみられます。

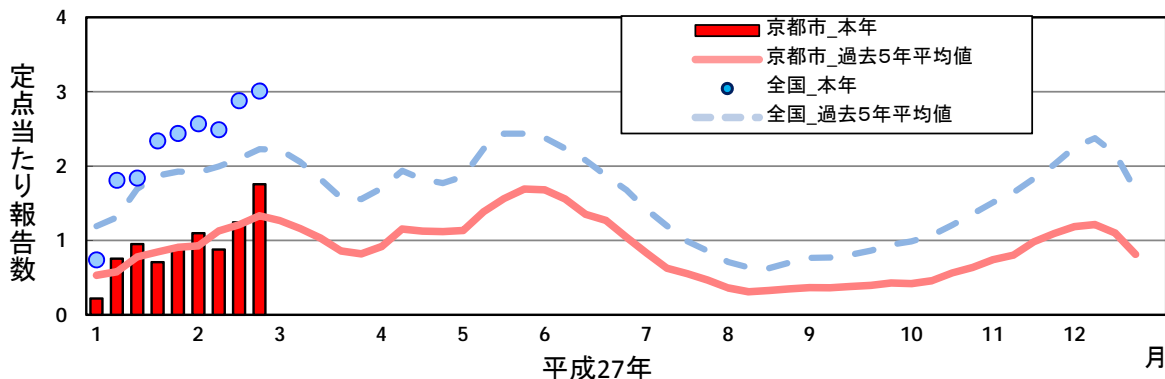
本市の年齢階級別割合をみると、例年9歳以下で全報告数の80%前後を占めており、本年も同様の比率を占めています。

予防

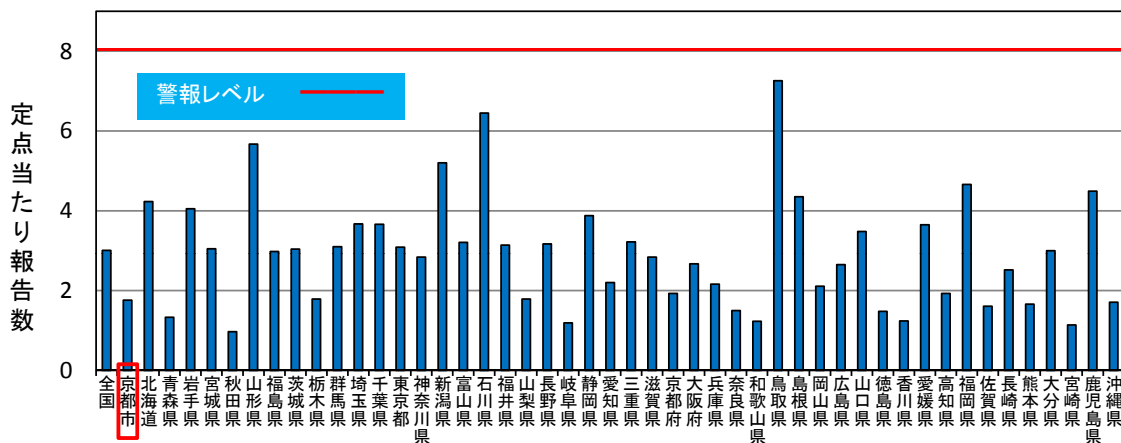
予防としては患者との濃厚接触を避け、うがい、手洗いなどの一般的な予防を行うことが大切です。また、マスクを用いた咳エチケットも効果が期待できます。



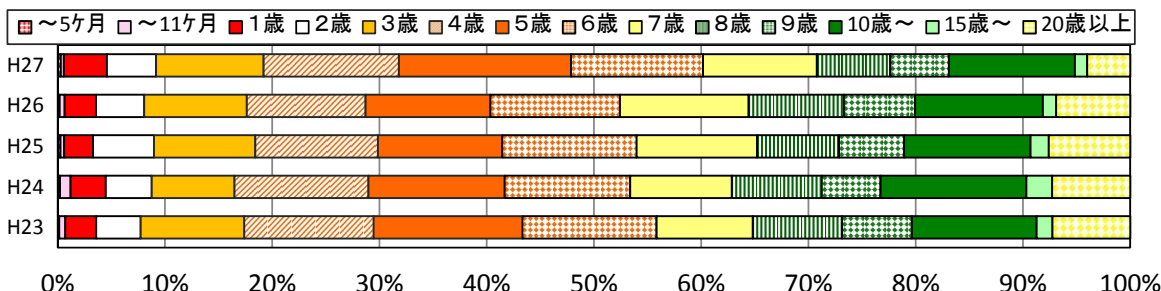
京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



都道府県別定点当たり報告数(第9週)



年齢階級別割合(京都市)



※平成27年は第9週までの報告数に基づく

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第9週

疾病,行政区別報告数

平成27年2月23日～平成27年3月1日

データ入手日:平成27年3月5日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	14	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	17	-	-	1	11	-	-	1	1	-	-	-	-	-						
左京	36	3	-	5	51	-	3	-	-	-	-	-	-	-						
中京	13	-	-	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	6	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	7	1	-	5	7	-	1	1	-	-	-	1	-	-						
下京	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	25	-	1	4	16	-	1	3	1	-	-	-	-	-						
右京	19	-	1	19	40	1	2	1	5	-	-	2	-	1						
伏見	39	1	6	25	54	1	12	2	7	-	-	-	-	-						
西京	33	1	-	11	32	1	-	2	1	-	-	1	-	-						
京都市計	212	6	8	72	243	3	20	10	15	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	2.00	-	-	-	2.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	3.40	-	-	0.33	3.67	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-						
左京	5.14	0.75	-	1.25	12.75	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-						
中京	2.60	-	-	0.67	1.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.00	-	-	-	8.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	1.00	0.25	-	1.25	1.75	-	0.25	0.25	-	-	-	0.25	-	-						
下京	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	5.00	-	0.33	1.33	5.33	-	0.33	1.00	0.33	-	-	-	-	-						
右京	2.38	-	0.20	3.80	8.00	0.20	0.40	0.20	1.00	-	-	0.40	-	1.00						
伏見	3.55	0.14	0.86	3.57	7.71	0.14	1.71	0.29	1.00	-	-	-	-	-						
西京	4.71	0.25	-	2.75	8.00	0.25	-	0.50	0.25	-	-	0.25	-	-						
京都市計	3.12	0.15	0.20	1.76	5.93	0.07	0.49	0.24	0.37	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第9週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年2月23日～平成27年3月1日

データ入手日:平成27年3月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	212	-	3	7	12	3	13	10	13	14	10	12	32	7	14	16	22	10	4	5	5
RSウイルス感染症		6	-	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		8	-	-	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		72	-	-	2	2	8	7	10	8	10	6	4	10	1	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		243	2	10	19	25	14	19	21	18	24	10	8	33	9	31	-	-	-	-	-	-
水痘		3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	20	-	-	2	4	5	2	4	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		10	-	-	-	1	-	4	1	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	-	5	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	3.12	-	0.04	0.10	0.18	0.04	0.19	0.15	0.19	0.21	0.15	0.18	0.47	0.10	0.21	0.24	0.32	0.15	0.06	0.07	0.07
RSウイルス感染症		0.15	-	0.02	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.20	-	-	0.07	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.76	-	-	0.05	0.05	0.20	0.17	0.24	0.20	0.24	0.15	0.10	0.24	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.93	0.05	0.24	0.46	0.61	0.34	0.46	0.51	0.44	0.59	0.24	0.20	0.80	0.22	0.76	-	-	-	-	-	-
水痘		0.07	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.49	-	-	0.05	0.10	0.12	0.05	0.10	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.24	-	-	-	0.02	-	0.10	0.02	-	-	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.37	-	0.12	0.15	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.10	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第9週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年3月5日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	1,523	1,158	773	487	290	212
RSウイルス感染症	22	16	9	9	8	6
咽頭結膜熱	7	7	7	10	6	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	37	45	36	51	72
感染性胃腸炎	298	233	253	215	226	243
水痘	21	11	18	7	13	3
手足口病	16	5	28	17	8	20
伝染性紅斑	10	12	8	4	8	10
突発性発しん	11	9	19	10	5	15
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	3	1	1	-
流行性耳下腺炎	6	2	3	6	2	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	5	3	-	1
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	1	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,946	1,490	1,172	805	618	594

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	22.40	17.03	11.37	7.16	4.26	3.12
RSウイルス感染症	0.54	0.39	0.22	0.22	0.20	0.15
咽頭結膜熱	0.17	0.17	0.17	0.24	0.15	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	0.90	1.10	0.88	1.24	1.76
感染性胃腸炎	7.27	5.68	6.17	5.24	5.51	5.93
水痘	0.51	0.27	0.44	0.17	0.32	0.07
手足口病	0.39	0.12	0.68	0.41	0.20	0.49
伝染性紅斑	0.24	0.29	0.20	0.10	0.20	0.24
突発性発しん	0.27	0.22	0.46	0.24	0.12	0.37
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	-	0.07	0.02	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.15	0.05	0.07	0.15	0.05	0.10
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	0.50	0.30	-	0.10
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	1.00	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	32.79	25.13	22.45	15.14	12.26	12.51

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。